

日本学術会議 循環経済を活かし自然再興と調和する
炭素中立社会への移行に関する検討委員会（第26期・第6回）
議事要旨

1. 日 時 令和6年11月27日（水）10:00～12:00

2. 会 場 オンライン開催（Zoom）

3. 出欠（敬称略）

出席：大塚直、北川尚美、北島薫、三枝信子、城山英明、鈴木朋子、土井元章、
森口祐一、野口和彦、橋本禅、橋爪真弘、松方正彦

欠席：岸本康夫、辻佳子、松八重一代

事務局：新田浩史参事官、角田美知子、齊藤美穂、佐藤有純、奥和田上席学術調査員

4. 議事

1) 第5回議事要旨の確認

第5回議事要旨が確認された 注（文中：環境委員会 →環境(学)委員会に修正）

2) 第5回までの意見、関連分科会との意見交換等に基づく論点整理

プラネタリーヘルスに関する公開シンポジウムに関する橋爪委員からの補足説明と資源の循環利用に関する学術フォーラムに関する鈴木委員の補足説明が行われ、主要国の動向と日本の進め方に関する事項等の意見交換があった。

3) 意思の表出に向けたまとめ方の方向性

原案の説明が行われた後、提言枠組みの中で国際的視点の取扱い、エネルギーに関する事項や地球温暖化への適応策の取扱いについて議論された。

また、NPでの視点の議論、発展のパラダイム、CN, CE, NPの共通軸、世界の多様性に対する枠組みや共有すべきフィロソフィ等についても議論が行われた。

4) 学術フォーラムの開催企画について

11月28日の幹事会へ現在案を提示することが説明され、了承された。

5) 今後の進め方、スケジュール

次回に、意見の表出の申し出について考え方を示すこととなった。

5. 資 料

資料1：第26期循環経済を活かし自然再興と調和する炭素中立社会への移行に関する
検討委員会第5回議事要旨

資料2：第5回委員会までの意見、関連分科会との意見交換等に基づく論点整理

資料3－1：前回までの論点整理と骨子案をもとにした意思の表出のまとめ方

資料3－2：意思の表出申出書のフォーマット、記載要領

資料4：学術フォーラム開催企画案

資料5－1：委員会の今後の進め方

資料5－2：意思の表出に向けたスケジュール案